



学校図書館だより

2月号

令和4年2月
柏市立 中学校
柏市学校図書館指導員

2月のことを如月（きさらぎ）とも言います。古くは「衣更着（衣を更に重ねて着る）」と表していたように、一年で最も寒い時期です。体が縮こまりがちですが、春の芽吹きのためにいろいろなことを吸収し、体も心もあたためて準備しておけるといいですね。

学校図書館には様々な分野の本があります。ぜひ手に取ってみてください。また、授業で利用する際は、資料探しのお手伝いをしますので、図書館指導員に気軽に声をかけてくださいね。

第166回

◆芥川賞

砂川文次（すなかわ ぶんじ）著
「ブラックボックス」
（群像8月号）

◆直木賞

今村翔吾（いまむら しょうご）著
「塞王（さいおう）の楯（たて）」
（集英社）

米澤穂信（よねざわ ほのぶ）著
「黒牢城（こくろうじょう）」
（KADOKAWA）

芥川賞・直木賞とは？

芥川龍之介賞と直木三十五賞は文藝春秋の創業者・菊池寛が友人の名を記念して昭和10年に制定しました。正賞は懐中時計、副賞は100万円。授賞は年2回です。

芥川賞…雑誌（同人雑誌を含む）に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞。

直木賞…新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞。

※参考：文藝春秋ホームページ（www.bunshun.co.jp）



今月のおすすめ本

テーマは「走る」

寒さに負けず、一歩前へ！

『風が強く吹いている』

三浦しをん 著 新潮社〈NDC913〉

箱根駅伝を走りたい—そんな灰二（はいじ）の想いが、天才ランナー走（かける）と出会って動き出す。個性的な10人のメンバーで目指す無謀ともいえる挑戦。果たしてほんとうに箱根駅伝に出場できるのか？そして、たすきはつながるのか？

ひたむきな姿に声援を送りたくなる、ハラハラドキドキの青春小説。

『一瞬の風になれ 第一部イチニツイテ』

佐藤多佳子 著 講談社〈NDC913〉

春野台高校陸上部。とくに強豪でもないこの部に入部した二人のスプリンター、新二と天才肌の連。幼なじみの二人が互いに影響を与え合い、「ヨンケイ(100m×4)」のレースに挑む。

テンポのよい会話と緊張感のあるレースのシーンに引き込まれます。第二部ヨウイ、第三部ドンまで一気読み必至！

『サイド・トラック』

走るのニガテなぼくのランニング日記』
ダイアナ・ハーモン・アシャー 著
武富博子 訳 評論社〈NDC933〉

ADD（注意欠陥障害）があり、ものごとに集中できず、心配事が絶えない中学生のジョセフ。運動が嫌いなのに、陸上競技をすることになり…。陸上競技を通して“大切なもの”に気づいていく成長の物語。

※「ライブラリーサーチ」の紹介文を一部引用しています。

学校図書館からのお知らせ

★不明本を探しています

蔵書点検で確認できなかった本があります。〇〇中学校のバーコードのついた本を見つけたら、図書館まで持ってきてください。

★3年生への本の貸出期間

3年生への貸出は〇月〇日までです。返却期限は〇月〇日です。